

第21回 千葉市地域自立支援協議会 全体会 議事要旨

- 1 日 時 令和7年8月26日（火）14：00～16：20
- 2 場 所 千葉市役所1階 正庁
- 3 参加者 《委員》18名
伊藤委員（社会福祉法人宝寿会） 会長
佐藤委員（社会福祉法人千葉市手をつなぐ育成会） 副会長
伊藤委員（社会福祉法人りべるたす 中央区障害者基幹相談支援センター）
田口委員（社会福祉法人斎信会 花見川区障害者基幹相談支援センター）
井出委員（社会福祉法人千葉市手をつなぐ育成会 稲毛区障害者基幹相談支援センター）
伊藤委員（社会福祉法人宝寿会 若葉区障害者基幹相談支援センター）
由良委員（社会福祉法人みらい工房 緑区障害者基幹相談支援センター）
藤本委員（社会福祉法人春陽会 美浜区障害者基幹相談支援センター）
武内委員（有限会社千葉れんげサービス）
高柳委員（特定非営利活動法人ひだまり）
成田委員（千葉市手をつなぐ育成会）
今本委員（特定非営利活動法人千家連）
加藤委員（千葉市重症心身障害児（者）を守る会）
安田委員（千葉市医師会）
藤尾委員（特定非営利活動法人ワーカス未来千葉）
武藤委員（千葉市ひきこもり地域支援センター）
鈴木委員（社会福祉法人千葉市社会福祉協議会）
仲村委員（千葉市発達障害者支援センター）
- 《委員（行政関係）》7名
奥澤委員（稲毛区高齢障害支援課 障害支援班主査）
米元委員（緑区高齢障害支援課 障害支援班主査）
田中委員（障害者相談センター 知的障害者支援班主査）
梶屋委員（こころの健康センター 主査）
小河原委員（東部児童相談所 相談班主査）
小閥委員（西部児童相談所 相談班主査）
山口委員（精神保健福祉課 通報対応班主査）
- 《事務局》8名
障害福祉サービス課 薄田課長
地域支援班 北島主査、手嶋主査、吉田主任主事
施設支援班 木村主査、中台主任主事、杉本主任
指導班 荒井主査

4 議題

- (1) 会長・副会長の選任について
- (2) 【報告】令和6年度千葉市地域自立支援協議会活動報告
- (3) 【報告】千葉市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業について
- (4) 【報告】千葉市の障害福祉関係統計資料
- (5) 【協議】令和6年度障害者基幹相談支援センターの運営状況について
- (6) 【協議】令和6年度地域生活拠点事業の運営状況について
- (7) 【協議】日中サービス支援型グループホームについて

5 会議経過

～以下、議事要旨～

○開会（挨拶）

薄田課長 平素より本市の障害福祉行政の推進について、深い御理解と多大なる御協力を賜り、御礼申し上げる。

本協議会は、障害のある方の地域生活を支えるため、地域における障害福祉に関する関係者・関係機関のネットワークを構築することを目指し、平成19年に設置されたものであり、本日の開催で21回目を数えることとなった。これまで行政だけではなかなか解決できない課題について、皆様からの助言・提案を受けて少しづつではあるが、前に進めることができていると感じている。

今年度より新たな3年間の任期を引き受けさせていただいたことについても改めて感謝申し上げるとともに、引き続き、行政と地域の関係機関・団体の方々との連携・協働による取組にお力添えいただきたい。

本年10月から、新たな障害福祉サービスとして、障害のある方自身が、就労先や働き方について、ご本人の希望や適性等に合ったよりよい選択ができるよう支援する就労選択支援が開始される。本市では、本年度より設置された就労部会において、部会委員や関係事業所の方々との意見交換などを通じて、制度の実施に向けた検討を進めているところであり、本日の議題の中でも報告予定である。

また、依然として、物価や人件費が上昇局面にあり、サービス提供費用などが増加していることも踏まえ、本市においても、令和6年度2月議会の補正予算において可決した物価高騰対策支援事業を今年度に繰り越しており、今月中に対象事業所を運営する法人宛に申請のご案内を発送する予定である。国に対しても、引き続き、報酬水準の見直しを強く要望していく。

全国的な課題だけでなく、地域特有の課題も山積しており、日々、各部会等でも取り組んでいただいているところだが、本日は、昨年度の各活動を報告させていただくとともに、皆様の忌憚のないご意見をいただき、自立支援協議会のさらなる活性化にご支援・ご御協力お願いしたい。

議題（1）会長・副会長の選任について

- 薄田課長 委員改選後、初めての全体会となるため、会長及び副会長を選任していただきたい。会長副会長については、千葉市地域自立支援協議会設置要綱第5条の規定により、障害者基幹相談支援センター運営事業者の中から委員の互選により定めることとなっているが、いかがか。
- 高柳委員 これまでも会長・副会長を務めになり、実績、経験ともに豊富でいらっしゃる、社会福祉法人宝寿会の伊藤文彦委員に会長を、社会福祉法人千葉市手をつなぐ育成会の佐藤委員に副会長をお願いするのがよろしいのではないかと考える。
- 薄田委員 高柳委員のご提案についていかがか。
- 出席委員 異議なし（一同拍手）
- 薄田委員 会長・副会長からご挨拶願いたい。
- 伊藤委員（会長） 基幹を中心に各地域の協議会、代表者が一堂に集まる場として全体会は1年に1回の開催となるため、令和6年度の総括をしながら、次に向けてみなさんからの意見をいただき、有意義な時間としていただけるよう副会長とともに進めていきたい。
- 佐藤委員（副会長） 伊藤会長を支えながら委員のみなさまと協働して、千葉市の障害福祉がさらに良いものになるように努めていきたい。

議題（2）【報告】令和6年度千葉市地域自立支援協議会活動報告

資料1に基づき、事務局より令和6年度の全体会、運営事務局会議専門部会、基幹相談支援ネットワーク会議及び地域部会について、資料1－2に基づき、藤尾委員より令和7年度就労部会の活動について説明と報告を行った。

議題（3）【報告】千葉市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業について

資料2に基づき、山口委員より精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業の令和6年度の主な内容や実績について、報告を行った。

議題（4）【報告】千葉市の障害福祉関係統計資料

資料3に基づき、事務局より障害者手帳等の所持者数、相談支援事業における相談件数、計画相談支援の計画作成者数等について、報告を行った。

成田委員 資料3－2 手帳所持者数について、18歳未満と18歳以上の分けとなっているが、18歳以上の方については、例えば20代、30代、40代などの分け方で人数を出していくだけると、年代に応じた必要なサービスなど、細かい分析や検討ができるのではないか。

事務局 ある程度分けることもできると思うため、来年度に向けて検討する。

議題（5）【協議】令和6年度障害者基幹相談支援センターの運営状況について

資料4に基づき、事務局より障害者基幹相談支援センターの運営評価について説明を行い、各区障害者基幹相談支援センターより、それぞれの運営状況について説明を行った。

<障害者基幹相談支援センターの評価について>

藤尾委員 基幹センターには地域の力の底上げの役割があることを考えると、地域の事業所が力をつけ、基幹センターの相談件数が少なくなることも評価されるべきなのではないかと思う。行政側で基幹センターの実績の評価等は行っているとのことだが、相談件数が多いことを評価しているのではないかと懸念し、念のため伝えておきたい。

<再犯防止について>

高柳委員 中央区基幹相談支援センターから話のあった再犯防止について、障害者基幹相談支援センターで受けたことになった背景を教えていただきたい。

伊藤委員 3年前から、千葉県からの依頼により障害者基幹相談支援センターで受けるように
(中央基幹) なった。件数としては、増えているというよりは毎年横ばいの状況。

<実人数変動の理由について>

高柳委員 若葉区と緑区の実人数の増減について、何か理由があれば教えてほしい。

伊藤委員 令和5年度実績から実人数は100名ほど増加。新規が約300件、継続も入れて、
(若葉基幹) この件数となっている。理由は不明。

由良委員 昨年度から実人数は減少。減少理由は不明だが、受託して3年経ち、傾向が変わってきたのかもしれない。実際の業務が減っている感覚ではなく、児童の相談件数も非常に多いと認識している。

<重心の方の相談について>

加藤委員 基幹センターの仕事量があまりにも多く心配している。重症児者の相談件数は多くはないと思うが、基幹センターを中心に医療的ケア児等支援部会を開催していただき、多職種で理解いただいていることについて感謝申し上げる。みなさまご承知のように、我々は医療が欠かせない状況で、訪問看護ステーションもよく利用しているが、家族がどのように訪問看護ステーションに繋がるのだろうか、高齢になり呼吸器が必要になってからサービスを探し始めるときに基幹へ相談していいのだろうかと心配している。仕事量が増えるなかでも、そのような相談は今後も乗ってもらえるのか。

伊藤委員 現在も相談に乗っており、今後も相談していただいて構わない。訪問看護は今増えているため、家族や支援者がわからないことが多いと思う。障害者基幹相談支援センターではそういった部分もある程度把握しているため、相談してもらいたい。

協議（6）【議題】令和6年度地域生活拠点事業の運営状況について

資料5に基づき、事務局より令和6年度地域生活支援拠点事業の運営事業について説明を行った。

議題（7）【協議】日中サービス支援型グループホームについて

資料6及び投影資料（グループホーム写真）に基づき、事務局より日中サービス支援型グループホームの実施状況及び評価について説明を行った。

<今後の評価方法について>

高柳委員 評価項目を追加したり、グループホームの写真などを活用したりし、状況を説明いただいたが、今後も事業所の増加が見込まれる中で、全体会の限られた時間のなかで評価することに限界を感じる。今後、評価の仕方について検討していただきたい。

事務局 検討する。

その他

資料7に基づき、事務局より障害者基幹相談支援センターの運営委託法人の決定について説明を行った。